



# くまもと未来ネット通信

## Kumamoto Mirai Net Working Report

(通信のPDF配信を希望される方は、E-mailでご連絡をお願い致します)

ご挨拶 代表 原育美

春、突然始まったロシアのウクライナ侵攻。罪もない市民の命がいわれもなく奪われ、壊滅的に破壊された街の姿や、数知れない砲撃が撃ち込まれた麦畑に目を覆う日々。一日も早くこの理不尽な戦争が終わり、食料とエネルギーの安定供給が再開され、ウクライナの人々と世界に平穏な暮らしが戻ることを皆が祈っていますが、閉塞感に覆われたまま冬を迎えようとしています。

皆様には、私たちの活動を長年ご支援いただき心より感謝申し上げます。原田正純元代表が亡くなられて10年が経過しました。元知事の潮谷さんと鼎談において、「経済の福岡に対し、安心安全な熊本を目指そう」と言われた言葉は、SDGsに先駆けた卓見でした。

新型コロナの影響が続く中、工夫しながら活動を継続して来ました。事務担当による、会員管理・会計・業務の整理や分析が行われ、運営の見える化が進みました。多くの方々の協働による昨年の10周年記念事業が奏功し、フェアトレードタウンとしての認証を更新できたことは、事務局を担った私たちには嬉しいニュースでした。外来生物アライグマの防除活動も、市町村への周知から地域連携防除へ広げて行きます。熊本市「アジア太平洋水サミット」では市民展示ブースへ参加し、地下水と農業をテーマに地下水の流れを展示しました。熊本県の「地下水と土を育む農業推進委員会」や白川中流域の涵養を担う「豊かな地下水を育むネットワーク」との連携を続けています。全国との連携活動では「持続可能な地域づくりネットワーク」の参加団体（原は幹事）として、待ったなしの気候変動への適応策・指標作りなどを学び、地域での取り組みに反映していきたいと考えています。

### ■熊本市フェアトレードタウン認定が更新（承認）されました！

熊本市は2011年にアジア初・世界で1,000番目のフェアトレードシティに認定されていますが、認定は3年更新であり、担当の鳥崎氏が事務方として地道に認定更新書類やエビデンスを作成し提出するなど対応を進めておりました。

日本での認定を行う「一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム」(https://fairtrade-forum-japan.org/)より、7月8日と9日の両日に2名の審査員が訪熊され、認定更新書類に記載された、行政（熊本市）の推進姿勢や体制、認定更新団体としての「NPO法人くまもと未来ネット」の対応状況、熊本各地のフェアトレード活動事例の確認が行われました。

その後、審査員の調査報告を元に同フォーラムの理事会で審議が行われておりましたが、「承認」の嬉しい知らせを受けましたので、ご報告致します。（明石）



※各記事のSDGs指標は代表的なものを表示、他にも多くが該当します。



熊本市および熊本市民の皆様

フェアトレードタウン認定更新のお知らせ

一般社団法人日本フェアトレード・フォーラム  
代表理事 原田正純  
認定更新議決日 2022年8月23日

熊本市がフェアトレードタウンに認定されて以降、フェアトレード推進活動をさらに活性化・深化させていることを確認いたしましたので、下記の通りフェアトレードタウン認定の更新を承認いたします。

記

初回認定日	2011年6月4日
対象地域	熊本市（熊本県）
推進組織	NPO法人くまもと未来ネット
次回更新期限	2025年6月3日

FAIR TRADE FORUM JAPAN  
一般社団法人 日本フェアトレード・フォーラム  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-26-28 原宿V2ビル2F  
Email: info@fairtrade-forum-japan.org  
https://fairtrade-forum-japan.org

熊本市は認定10周年を迎え、様々な記念行事が開催されました。（当会のホームページで既報）

◆世界フェアトレードデー2022 in 熊本 ~『Reborn』熊本、人吉、トンガ、世界の被災地へ~

<https://kumamoto-mirai.com/fair-trade-project/81-2022-in-reborn.html>

◆「2021フェアトレード国際フォーラム in 熊本」を開催しました

<https://kumamoto-mirai.com/fair-trade-project/76-2021-in2.html>

## ■令和4年度、熊本県アライグマ防除研修 事業を受託し実施

熊本県の事業である令和4年度熊本県アライグマ防除研修を受託しました。本事業の受託は4年目です。県の担当部署と調整し、市町村農政担当者対象研修会となります。

7/26に県北地域（山鹿）、7/28に県南地域（人吉）の二カ所で、午前中に講習（座学）、午後から屋外での実習というプログラムで、アライ



グマ被害の現状や、その具体的対策（生息調査～捕獲・防除）の研修を行ないました。

2006～2019年のアライグマの捕獲数は、九州では、なんと**36,829頭**であり、熊本県は述べ76匹（2021年まで）です。今のうちに対策を進める必要があります。（歌岡）

（写真 右：座学 左：屋外でのワナの設置）



<https://kumamoto-mirai.com/biodiversity-project/88-4-7-26-7-28.html>

<追伸> 県議会で、アライグマの防除体制についての質問が予定されており、各議員への説明に「アライグマ防除マニュアル」の一部を使いたいとの打診があり、提供しました。また、アライグマの防除活動に関し、一本の木財団へ申請し助成が決定しました。NPO法人水と緑いきものネットワークからの寄付金と併せて10月から事業を展開します。センサーカメラ、カメラ記録用SDカード、箱ワナなどを購入し現地調査を準備中です。（歌岡）

## ■第4回アジア・太平洋水サミット 熊本市開催 開催当日のブース出展を実施

アジア太平洋地域の首脳級や国際機関の代表などが参加し、水に関する諸問題について議論する第4回アジア・太平洋水サミットが、下記の日程で熊本市で開催されました。このサミットの成果を「熊本宣言」として国連水会議（2023年3月開催予定）で世界に発信しました。

開催日：2022年4月23日（土）～24日（日）

開催場所：熊本城ホール（メイン会場）ほか

主催：アジア・太平洋水フォーラム

（事務局：日本水フォーラム）、熊本市

テーマ：持続可能な発展のための水

～実践と継承～

くまもと未来ネットからは、大住理事と原代表が熊本市運営委員会へ参加し、準備を進めて来ました。NPO法人くまもと未来ネットと有機無農薬の百草園で出展しました。

テーマ「生命と水を守るオーガニック農業を持続可能にするために～私たちにできることは？～」

（写真：ブース見学中的大西市長）

地下水を蓄える要素として、水田農業は突出しています。

そこで、地下水の流れ（軌跡図）の上に、農家数をシールで示し、さらに、農畜産物を購入できる店舗を別のシールで表現し貼付しました。会場は来場者参加型にし、一緒に、持続可能な農業と「水循環」について考えました。また、近年問題になっているマイクロプラスチックが農業にどのように影響しているか。みなさんに考えるきっかけにさせていただければと思いました。（大住）



## ■熊本でも進むバイオマス発電とその問題点

<https://kumamoto-mirai.com/energy-projects/82-2022-04-25-07-52-42.html>

バイオマス発電にも様々な技術があり、火力発電の燃料に様々な種類があるのと同様に、バイオマス発電も燃料は様々です。輸入した「原料」を燃やす場合や木質チップの供給状況については、本当にカーボンニュートラルなのか、原料の供給元の環境を破壊せず持続可能なのか、検証が必要です。

この様な状況の中、八代港に国内最大級の木質バイオマス発電施設が建設されることが発表されました。事業計画仕様には、燃料種別に「木質ペレット」「PKS」「木質チップ（熊本県産の未利用間伐材等）」の記載があり、それぞれに問題を含んでいます。

この国内最大級の施設の稼働を賄うには大量の輸入「木質ペレット」「PKS」が必要であり、それらが入手困難な場合は、国内森林資源に「持続可能ではない」調達負荷がかかる事になります。（井上）

## ■老朽化した石炭火力発電の延命

### 「GENESIS松島計画」へ意見を

<https://kumamoto-mirai.com/news/92-genesis.html>



この計画は、電源開発株式会社（J-POWER）が本来休廃止する予定であった、長崎県松島にある松島石炭火力発電所にガス化設備を施して「CO<sub>2</sub>排出量を10%削減する」ことで継続利用しようとするものです。もしこの計画が推進されると、他の事業者も非効率で廃止する予定であった石炭火力を継続利用する可能性があり、現状でも気候危機対策に後ろ向きな日本が、さらに逆行してしまいます。

また、本来国の予算は再エネ社会の実現に向けた事業に投じられるべきですが、まだ実証実験の段階の技術に依存し資金が投じられることは、気候危機が喫緊の課題である今、見過ごすことはできません。計画段階の今、止めたいと強く思っています。（「350 New ENERation」からの協力要請に対応）

## ■山都町に産廃処分場の建設計画（2025年稼働）一旦取り下げ

<https://kumamoto-mirai.com/news/89-2025.html>

未来ネットの事務所へ、「山都町に産廃処分場の建設計画があり、五ヶ瀬川の水源地にあたり反対している」というお電話がありました。この処分場は、熊本市の星山商店が計画しているもので、同社のホームページには計画の概要や意見募集が掲載されています。

住民の反対運動も始まっています。「東竹原産廃阻止期成会」（栗屋克範代表）は、「地震や大雨による（処分場内の）盛り土の崩壊などが懸念され、下流の農林漁業や観光業に影響がある」などとする意見書を同社に提出。（熊日記事から）山都町の子育てと教育を考える会では「水からの速達」上映会を複数回行い、また、現地見学会が行われました。水保の処分場計画を止めた、藤本としこさんの講演会や、くまもと未来ネット理事の中地さん（熊本学園大学教授・化学物質と環境が専門）の学習会も行われました。

熊本県の環境影響評価（アセスメント）のSiteにも登録がありました。

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/147393.html>

期限までに多数の（反対）意見が寄せられた様で、現在の手続きの

状況は「事業中止」となっていますが、再度の事業申請の可能性もあります。（井上）



## ■小冊子「産廃ってなあに？」の復刻と基礎知識の共有について

<https://kumamoto-mirai.com/regional-common-business/93-2022-10-17-04-05-00.html>

約30年前、高度経済成長に廃棄物行政が追いついていない状況下で、水源地や農地や小学校の近くへの最終処分場の計画や、県内各地への不法投棄等が問題になり、「（旧）産業廃棄物を考える熊本連絡会」（現在解散）が発足しました。

反対運動は全国で始まり、ネットワークを結び情報共有されました。私たちは、まずは“産廃”というものは何なのかを学び共有するためにこの冊子を制作しました。約30年が経過し法律も改定され、人々の記憶から廃棄物問題が遠ざかった感もあり、復刻とPDFでの提供を行う事にしました。少しでも役に立てれば幸いです。



## ■ 熊本県の学校給食パンが国産100%に！

くまもとのタネと食を守る会 <https://www.kumatane.com/>



当会も会員となっています「くまもとのタネと食を守る会」さんより朗報がありました。グリホサートの残留する輸入小麦を使ったパンが、熊本県の学校給食よりなくなるとの事です。この2学期から、国産小麦100%で提供されます。（熊本県産70% 北海道産30%） ※当会も署名に参加しました。品質の優れた国産小麦で学校給食パンを完成させるため、熊本県学校給食会、熊本県パン協同組合、熊本製粉の3社にて、協議・試作をを重ね、価格も外国産小麦を使用したものと同価格で提供するとの事です。子供たちのため、今後も一歩ずつ進んでいきましょう。

## ■ ソーラーシェアリング事業停止と事業会社の解散につきまして

コロナ禍を起因とした原材料の高騰や九州電力による太陽光・風力に対する出力制御（買収の制御）が最終要因となり、計画中の全4か所について採算が取れない為に、大変残念ではありますが、事業からの撤退を決定しました。また、各協力農家さんを訪問、ご報告しご理解を頂きました。皆様のご期待に沿えず大変申し訳ありません。事業会社「株式会社エネルギーファームくまもと」は、今年中を目標に解散を致します。（原・井上）



## ■ 編集後記（事務局の活動から）

- ◆ 会報が年報の様になり申し訳ありません。今期はホームページからの情報配信を多く行う事が出来、他の団体と繋がる事案も多くなりました。前頁の記事からも、ダムや発電所、廃棄物処分場、私たちは「開発行為」と対峙しているのだと感じます。今後もタイムリーな問題提起や情報提供に努めます。
- ◆ 法人としての事務は複雑多岐です。総会の開催、法人管理の県（アイポート）への報告、法務局対応、銀行回り、入金・出金、日々の会計入力、理事会のバックアップ、過去の業務の振返りと修正、緊縮財政への対応、棚卸し、等々。コロナもあり、通勤時の環境負荷低減の意味も含め、事務所への駐在は少なくし、なるべく在宅で対応しています。また、事務所の電話は私の携帯へ自動転送しております。効率的な時間配分と優先順位を考え努力しておりますが、事務局体制の拡充は難しい状況が続くと思われれます。引き続き、ご理解とご支援を賜ります様、お願い申し上げます。（井上）

ご支援・ご協力をありがとうございます（2021.10～2022.9）

### 【正会員】

（個人）粟谷利夫、手嶋敬、中村潤三、坂本講一、鎌田聡、小椋清市、白石伸彦、草野龍二、園田敬子、勝連洋務、海原尚佳、永村一泰、菅野隆明、鳥崎一郎、田尻和子、大住和子、歌岡宏信、山口久臣、明石祥子、中地重晴、田上辰也、長峰秀幸  
（法人）（株）ネイチャー生活倶楽部、（医）原武会 北部病院、（社）熊本県保険医協会、（医）秋津レークタウンクリニック

### 【賛助会員】

（個人）田中利和、愛甲三朗、菊水正博、備後由喜江、中村博子、真次寛、沼津秀樹、山口登代、田北成樹、吉住眞、中田哲也、竹熊千榮子、内田敬介、松野信夫、守田愛沙  
（法人・団体）熊本県労働者福祉協議会、（公財）阿蘇グリーンストック、（医）相禮会 山下歯科、よもぎ薬局、白井工業（株）

【維持会員】九州太陽電池工業、宇野昭彦、原育美、宮北隆志、宮瀬美津子、井上智 ※敬称は省略しております。

寄付・会費等のお支払いは以下の口座へよろしくお願い致します。

肥後銀行 味噌天神支店	普通預金	1495574	NPO法人くまもと未来ネット
九州労働金庫 熊本支店	普通預金	2702440	NPO法人くまもと未来ネット
郵便振替 記号01930-4 番号60756			NPO法人くまもと未来ネット

### 【発行】



NPO法人  
くまもと未来ネット  
Kumamoto Mirai Net

〒862-0942 熊本市東区江津1-7-17  
TEL 096-362-3776 / FAX 096-200-6395  
E-mail : [home@kumamoto-mirai.com](mailto:home@kumamoto-mirai.com)  
Web Site : <https://kumamoto-mirai.com>



QRコード